

Red Cross Kyoto

# 赤十字 きょうと 2018 7月号



赤十字バナーの掲揚（七条通）



大阪府北部地震における避難所での巡回調査

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

 **日本赤十字社** 京都府支部  
Japanese Red Cross Society





## 赤十字運動月間 ～府内各地でイベントを実施しました～

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。日本赤十字社では、5月を毎年『赤十字運動月間』と位置付けており、京都府支部においても多彩な事業を展開し、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけました。

### 「ひろげよう赤十字の輪（和）」の実施

5月26日（土）に、京都駅前地下街ポルタ「ポルタプラザ」において、京都府内の各赤十字施設と京都府の共催により、イベント「ひろげよう赤十字の輪（和）」を実施しました。

当日は、キャンペーンセレモニーを行うとともに、段ボール製簡易ベッドや簡易トイレの組立て方の実演、骨健康度測定や血圧測定等の健康コーナー、缶バッジ作成コーナーを設置し、来場者の方々に赤十字の活動について理解を深めていただくことができました。



缶バッジを作成する来場者と  
青少年赤十字（JRC）メンバー

### 「赤十字レッドライトアップ・プロジェクト」の実施

日本赤十字社では、「人道」への理解を深めていただくことを目的として、5月8日の世界赤十字デーを中心に、全国各地の歴史的建造物等のライトアップを行っています。

京都府内においては、京都府庁旧本館（重要文化財、写真右下）と元離宮二条城（世界遺産、写真左上）、舞鶴赤十字病院の3か所をライトアップしました。

当日はあいにく雨天でしたが、赤色のライトアップが醸し出す幻想的な光景に訪れた方々から歓声が上がっていました。



### 「まいづる田辺城まつり」に赤十字ブースを出展

5月27日（日）に、舞鶴公園において「まいづる田辺城まつり」が開催され、京都府支部もブースを出展し、舞鶴赤十字病院職員やボランティアの方々と共に啓発活動を行いました。

赤十字のブースにも大勢の親子連れや子どもたちが来られ、オリジナル缶バッジの作製や子ども救護服の着用体験、公式マスコットキャラクターの「ハートラちゃん」との記念撮影を楽しまれました。



子ども救護服着用体験





## 大阪府北部地震 ～直ちに対応を開始～

平成30年6月18日（月）、大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震が発生し、京都府支部では地震発生後、直ちに情報収集を開始するとともに、管内施設等と連携しながら迅速な対応を行いました。

### 被災地にDMAT・救護班を派遣

京都府支部では、京都府の要請に基づき、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院のDMAT（災害派遣医療チーム）を派遣し、大阪府内の医療機関において活動を行いました。

また、日赤大阪府支部の要請に基づき、京都第一赤十字病院の救護班を派遣し、茨木市内の避難所の巡回調査を行いました。



被災地に向け出動する救護班

## 救護員等の訓練～災害に備えるために～



救護所活動を机上でイメージ

### 救護班要員基礎研修会を実施

京都府支部では、災害時に備えて、救護班を15班編成しており、救護班要員として登録された職員を対象に救護活動を行ううえで必要な知識や技術の習得を目的に研修会を実施しています。

5月19日（土）に京都第一赤十字病院で実施した研修会には、総勢94名が参加し、救護班の役割や無線の操作、トリアージ、救護所運営についての机上訓練等を行い、救護班の活動について理解を深めました。

### 日本赤十字社第4（近畿）ブロック合同災害救護訓練に参加

6月2日（土）、大阪府を縦断する上町断層帯を震源とした震度7の直下型地震により大阪市内で甚大な被害が発生し、多くの住民が避難所で生活をしているという想定で、近畿2府4県の赤十字施設が合同で災害救護訓練を行いました。

京都府支部からは、管内の職員と特殊奉仕団である「赤十字レスキューチェーン京都」のボランティアなど50名が参加し、「現場救護所活動訓練」、「避難所アセスメント訓練」、「本部参集・報告訓練」の3つの訓練を通して、災害時における効果的な活動について確認・点検を行いました。



避難所で情報収集する救護班





## 防災・減災に向けた取組 ～お互いに助け合うために～

日本赤十字社では、これまでの災害で得た教訓や経験を忘れることなく、多くの人が将来起こりうる災害へ向け意識を向上させ、お互いに助け合える知識や技術を習得することを目的に、様々な事業を展開しています。

### 災害エスノグラフィーを実施



意見を交わして災害時をイメージ

2月5日（月）に京都市勤業館「みやこめっせ」（京都市）で、左京区赤十字奉仕団が防災研修「災害エスノグラフィー」を実施しました。

災害エスノグラフィーとは、被災された方々の体験記を通して、何に悩み、どのように解決していったかを追体験することで、災害の全体像を理解し、次に何が起こるか想像する力を養うプログラムです。

当日は熱心な意見交換が行われ、「災害では地域でどれだけ助け合えるかが生死を分ける。普段から隣近所との繋がりが大事。」といった意見が発表されました。

### 「地域みんなで支え合おう～防災・介護・応急手当を学ぼう～」を実施

3月2日（金）に文化パルク城陽（城陽市）でイベント「地域みんなで支え合おう～防災・介護・応急手当を学ぼう～」を実施しました。

参加者は、日赤城陽市地区奉仕団（城炊会）や日赤京都府支部職員の指導の下、少ない水で作るハイゼックス炊飯や毛布ガウンの作成、段ボールベッドの組立てなどを行い、避難所での生活をイメージしながら熱心に受講されていました。



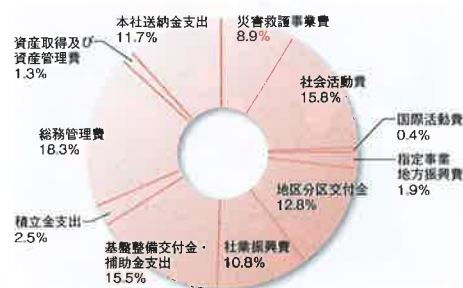
毛布をガウンとして活用

## 平成29年度 日本赤十字社京都府支部 歳入歳出決算のお知らせ

### 評議員会を開催

6月15日（金）開催の評議員会において、支部と各病院の平成29年度歳入歳出決算案の審議が行われ、原案どおり承認されました。また、京都府赤十字血液センターの平成29年度事業概要報告が行われました。

京都府支部の決算の概要は以下のとおりです。



決算額(千円)	内 訳
災害救護事業費 28,030	救護用資機材等の整備、救護看護師の指導養成等
社会活動費 49,672	救急法・水上安全法・幼児安全法講習会の開催経費、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費等
国際活動費 1,139	国際開発協力事業に係る経費
指定事業地方振興費 6,134	災害救護設備の整備に係る経費
地区区分区交付金 40,344	地区区分区への事務費及び事業費の交付金
社業振興費 34,061	会員募集及び登録や広報活動に係る経費
基金整備交付金・補助金支出 48,868	医療施設や血液センターの基金設備のための交付金
積立金支出 7,973	施設整備準備資金積立金、事業準備積立金など
総務管理費 57,600	光熱費、事務費など
資産取得及び資産管理費 4,146	庁舎の維持管理費など
本社送納金支出 36,669	本社の国内・国際活動に係る経費
支出合計 314,636	